

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020年 4月 8日作成 第1版

研究課題名	ミオシン重鎖 11 の早期動脈硬化性血管障害指標としての有用性の検証
研究の対象	過去に本学で実施された「大動脈瘤のバイオマーカー探索と治療開発」の研究で外部機関（前橋広瀬川クリニック）より提供を受けた健常者の血液検体を使用します。また、東京医科大学病院循環器内科を受診されている患者さんが対象となります。
研究目的 ・方法	ミオシン重鎖 11 は血管平滑筋細胞に特異的に発現する細胞構成蛋白成分であり、動脈硬化などの血管炎症で血中に流出します。私たちはこれまでの研究から、ミオシン重鎖 11 が動脈硬化性血管障害を反映する指標となる可能性があると考えています。そこで本研究では、動脈硬化から発症する疾患を持つ方と健常な方の血液を用いて、ミオシン重鎖 11 が動脈硬化性血管障害を反映する指標であるかを調べます。本学においては、過去の研究で提供を受けた健常者の血液検体と情報を使用しますので、対象の方に新たにご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2020年 5月 21日 ～ 西暦 2022年 12月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	健常者： （試料）血液検体 （情報）血圧、BMI、内服歴、喫煙歴 血液指標 等 患者さん： （試料）血液検体 （情報）既往歴、治療薬、喫煙歴、上腕足首間脈波速度、下肢上腕血圧比、頸動脈超音波検査、血圧、BMI、血液指標 等
外部への 試料・情報の 提供	本学で保管している健常者の検体を、東京医科大学病院・東京医科大学へ提供します。本学で保管している健常者の検体や情報は、個人情報削除したうえで提供されたものであるため、本学の研究者も個人を特定することができません。本学においても提供先の施設においても、特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管されます。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	本学の循環制御医学教室も解析を担当するため、東京医科大学病院 循環器内科で採取された動脈硬化をもつ患者さんの血液や臨床情報の提供を受けます。血液検体や臨床情報は匿名化した状態で提供を受け、特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管します。
研究組織	研究代表機関：東京医科大学病院 循環器内科 共同研究機関：東京医科大学 細胞生理学分野 横浜市立大学医学部 循環制御医学

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

なお、本研究における対象者については、健常の方についても患者さんについても本学の研究者が個人を特定することはできません。そのため参加拒否の連絡をいただいた場合も対応いたしかねることをご了承ください。

問合せ先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学 医学部医学研究科 循環制御医学 （研究責任者）石川 義弘

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-788-1470

研究代表者：東京医科大学病院 循環器内科 高橋 梨紗